

福島第一原子力発電所 1 号機 原子炉建屋 5 階の調査に向けた予備調査の実施について

平成25年 8 月 7 日
東京電力株式会社

1. 目的

福島第一原子力発電所1号機、使用済燃料プール(以下、SFP)内燃料取出しに向け、既存原子炉建屋カバー解体後の瓦礫撤去及びSFP養生等の作業計画検討のため、原子炉建屋(以下、R/B)5階SFP廻りの調査を計画中である。

SFP廻りの調査については、R/B4階南側スキマサージタンク室からアクセスし調査することで計画中であるが、今までスキマサージタンク室内の状況を調査したことがない。

本調査は、本格調査前の予備調査としてスキマサージタンク室へのアクセス性、スキマサージタンク室からR/B5階へのアクセス性についての調査を目的とする。

2. 作業時期

予備調査:平成25年8月8、9日

本格調査:平成25年9月(予定)※

※予備調査結果により、変更になる可能性あり

3. 作業エリア

1号機 原子炉建屋3階, 4階南側 ※

※立入ルート(1階～4階当該エリアまで)については、添付資料－3参照。

4. 作業内容

前回調査(平成24年10月のバルーンによる調査)で機器ハッチから原子炉建屋5階の確認を行っているが、SFP近傍の詳細は分かっていない。

今回は、よりSFPに接近出来る場所としてR／B4階の「スキマサージタンク室」からR／B5階へポールを伸ばし、今後本格的な調査が可能であるか判断するための現場調査を行う。

(添付資料－1参照)

(1)スキマサージタンク室内

- ・瓦礫飛散状況及び調査用伸縮ポール設置可否確認
- ・上部ハッチカバー(R／B5階床面)の開放確認

(2)スキマサージタンク室及び4階通路部線量確認

(3)スキマサージタンク室への電源/制御ケーブル布設可否確認

(4)スキマサージタンク室上部(R／B5階床面)からの視認性確認

上記確認結果を踏まえて、今後、本格調査について検討する。

(添付資料－2参照)

5. 作業(班)体制

東京電力(株): 1名,

日立GEニュークリア・エナジー(株) 10名(一次／二次請け含む)

合計: 10名

(被ばく線量等の観点から、バックアップとして更に一班待機)

6. 計画線量

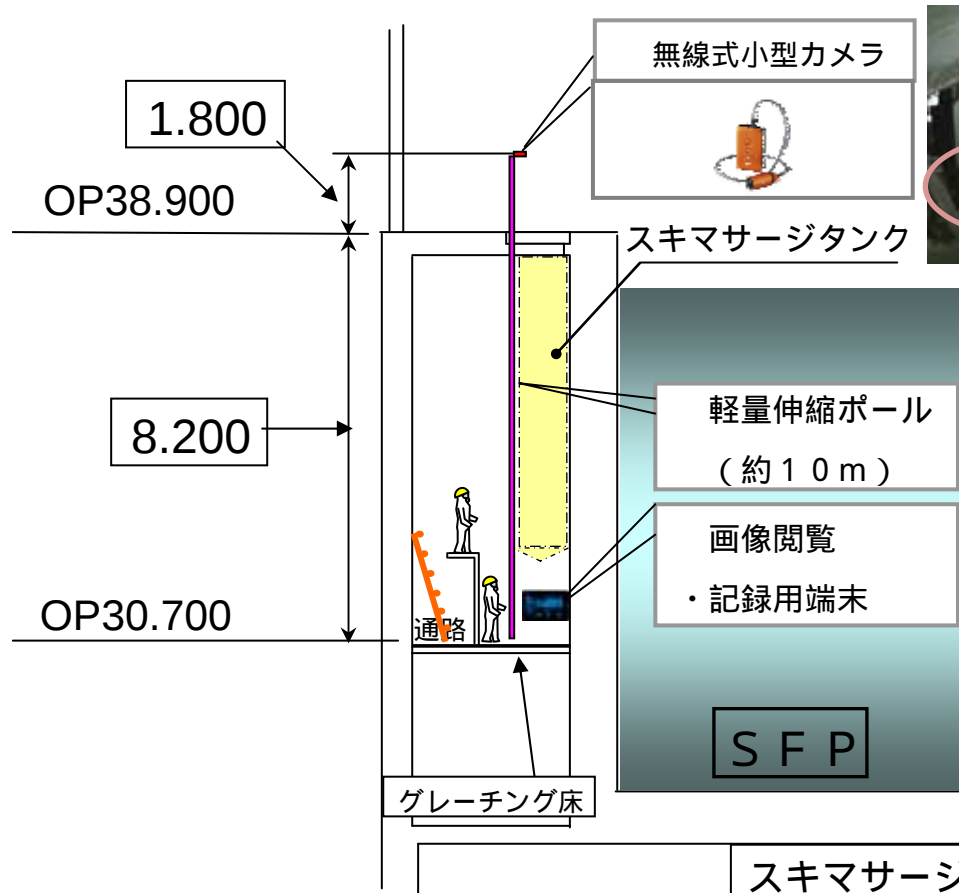
5mSv／日／人(最大)

7. 作業上の注意事項

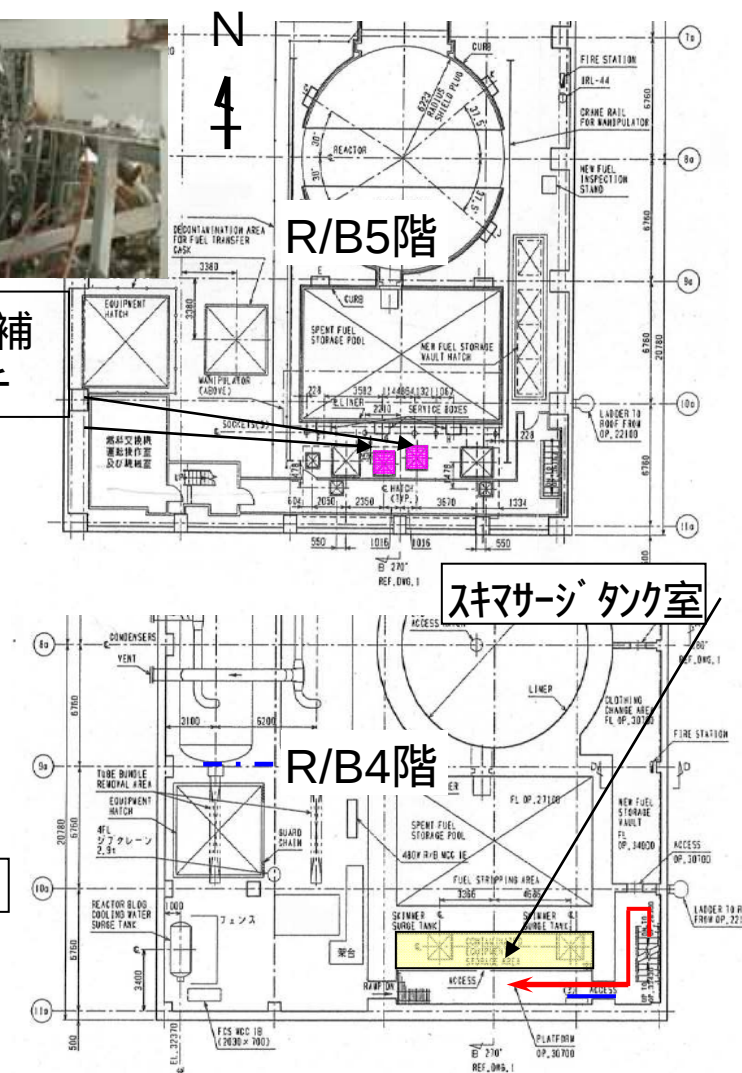
予め、定めた移動ルートを厳守する。

また、R／B4階西側には非常用復水器設備があるため、立ち入らないこととする。

(添付資料－3参照)



調査用候補
ハッチ



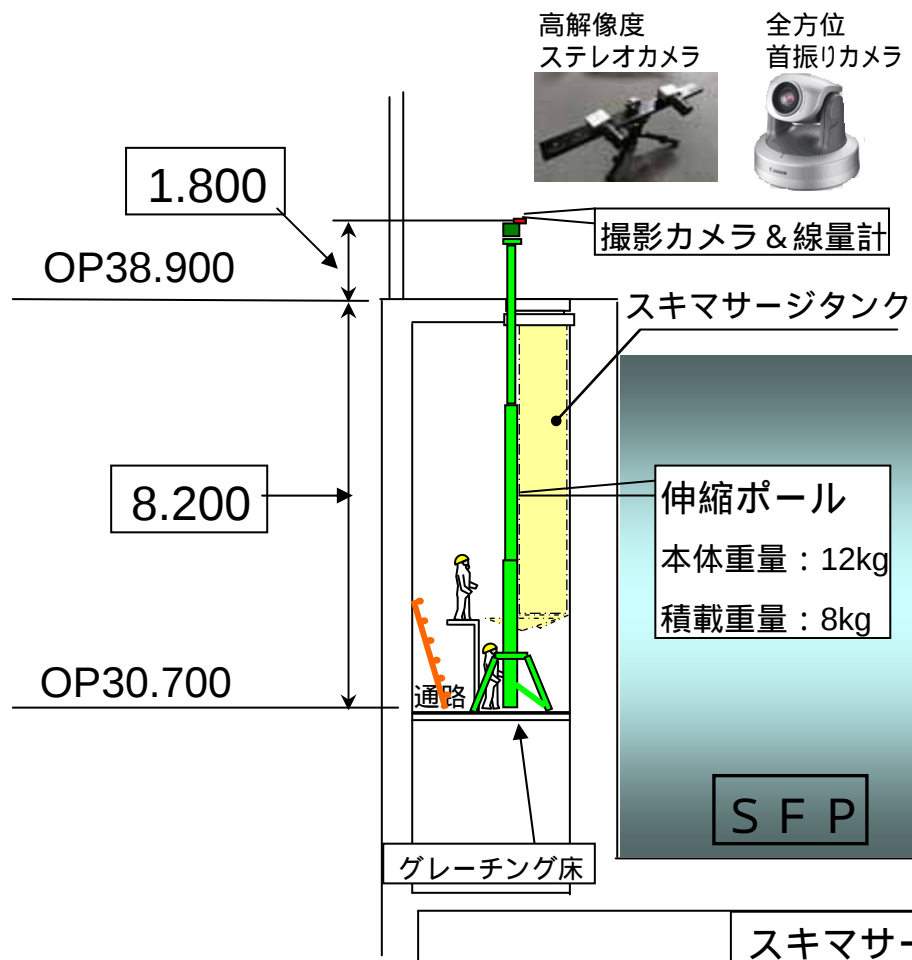
← 4階アクセスルート



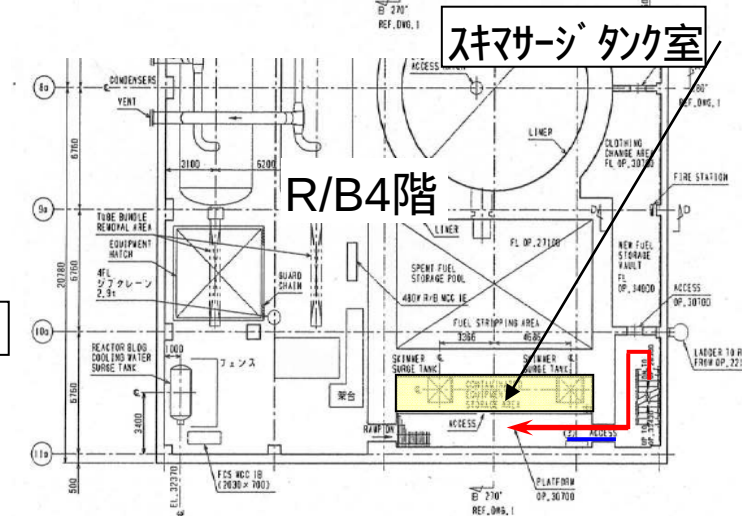
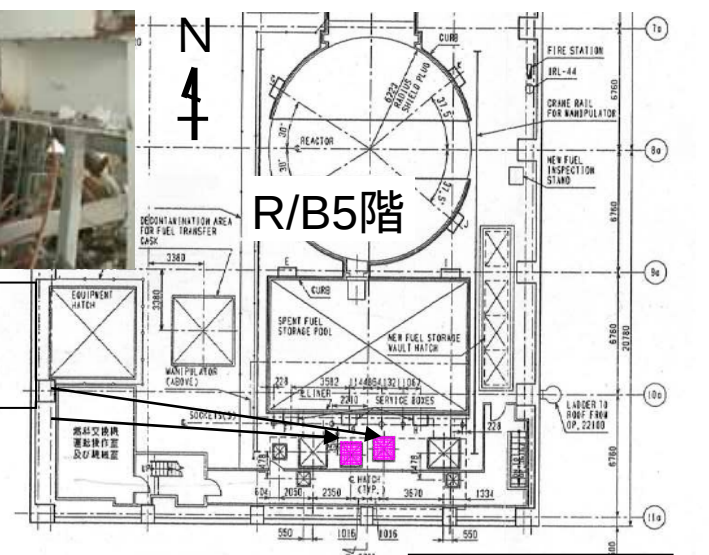
通路エリア状況（雰囲気線量：5mSv/h）

スキマサージタンク室本格調査イメージ図

添付資料-2



調査用候補
ハッチ



← 4階アクセスルート

スキマサージタンク室扉



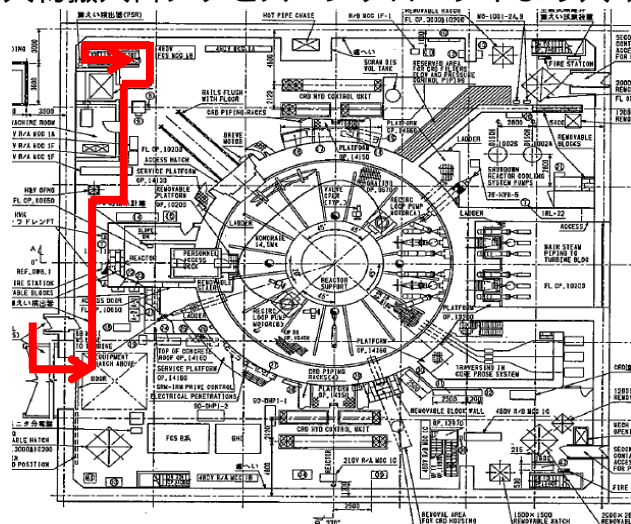
通路エリア状況 (雰囲気線量：5mSv/h)

立入ルート（移動範囲）

添付資料－3

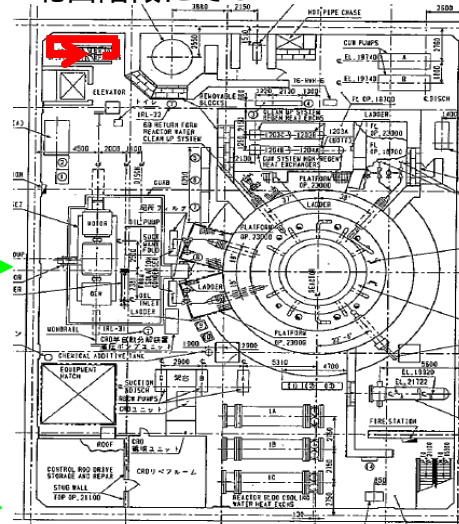
【1 F L】

大物搬入口アクセスエンクロージャより入域



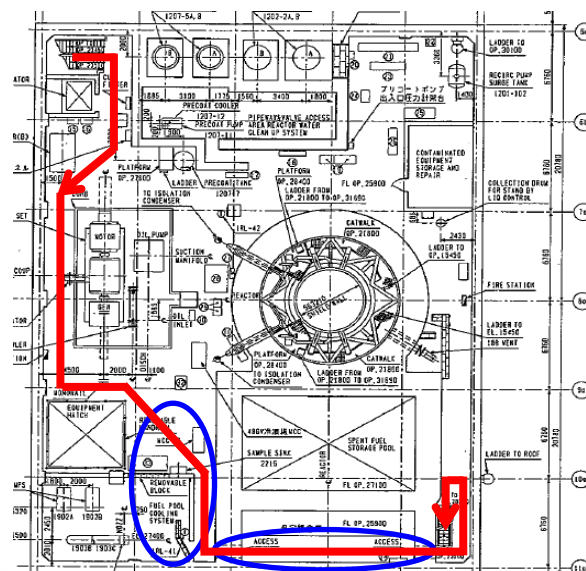
【2 F L】

北西階段にて3 F Lへ



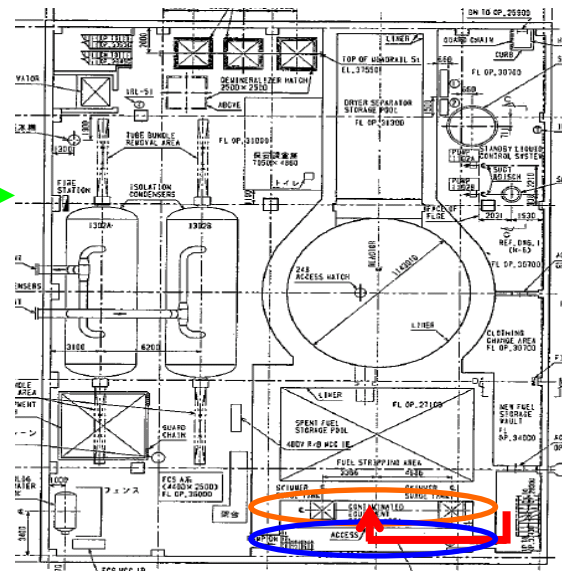
【3 F L】

MGセット室西側～南東階段にて4 F Lへ



【4 F L】

スキマサージタンク室及び周辺の調査実施



電源/通信ケーブル敷設
確認エリア

スキマサージタンク室
確認エリア